

平成28年3月期 第2四半期決算説明資料

平成27年11月18日

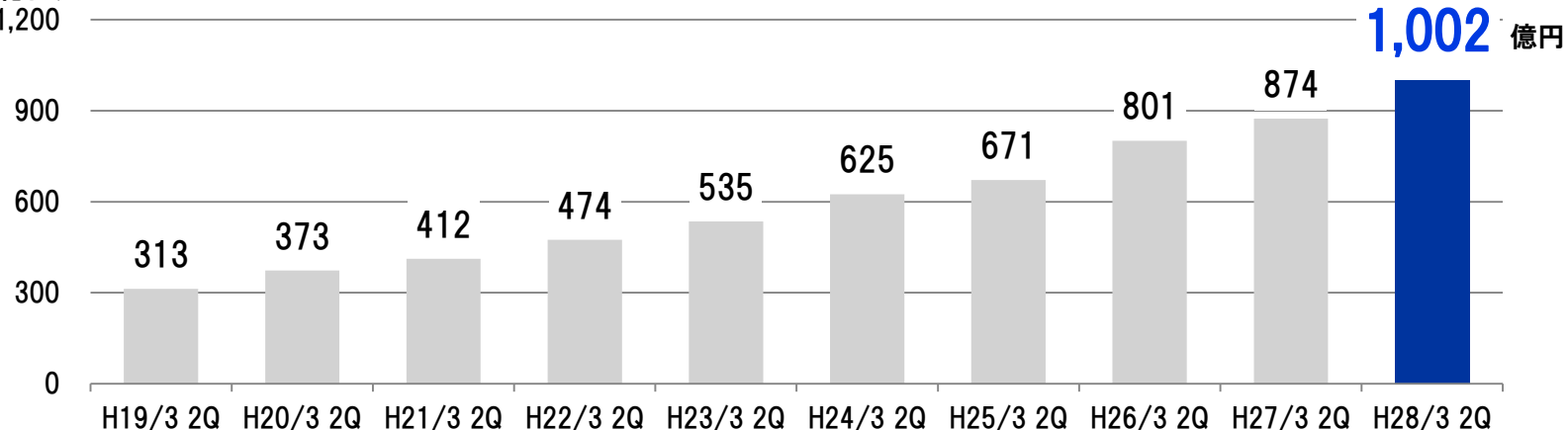
 日本調剤株式会社

(東証一部／証券コード 3341)

I . 平成28年3月期 第2四半期 業績報告

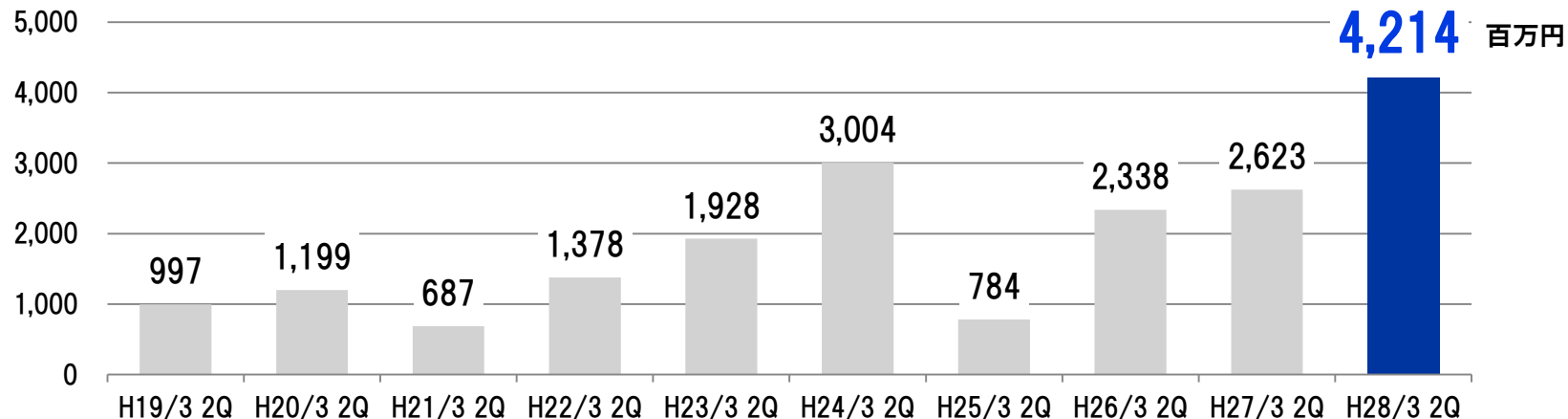
◆第2四半期 連結売上高推移

(億円)



◆第2四半期 連結営業利益推移

(百万円)



新中期経営計画初年度は上期目標を順調にクリア！

－対前年同期比、大幅な増収増益を実現－

(単位:百万円)

	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9	対前年同期 増減額	同 増減率	H28/3 上期 期初予想	上期 期初予想 達成率
売上高	80,136	87,418	100,269	12,851	14.7%	97,980	102.3%
売上原価	67,575	72,571	82,369	9,797	13.5%	80,698	102.1%
売上総利益	12,560	14,846	17,900	3,053	20.6%	17,282	103.6%
販管費	10,222	12,223	13,685	1,461	12.0%	14,355	95.3%
営業利益	2,338	2,623	4,214	1,591	60.7%	2,926	144.0%
対売上比(%)	2.9%	3.0%	4.2%	—	—	3.0%	—
経常利益	2,049	2,318	3,936	1,617	69.8%	2,553	154.1%
四半期純利益	950	1,157	2,471	1,313	113.4%	1,195	206.7%

※当社会計処理では控除対象外消費税等については販管費に計上しております

◆平成28年3月期 連結業績予想を上方修正

(単位:百万円)

	H27年4月30日	H27年10月29日		(ご参考)
	期初予想	今回修正予想	前期比増減率	前期実績
売上高	207,523	220,455	21.2%	181,844
営業利益	8,200	10,742	61.6%	6,647
対売上比(%)	4.0%	4.9%	—	3.7%
経常利益	7,434	9,491	58.1%	6,003
当期純利益	3,583	5,611	102.0%	2,778

全事業セグメントで増収実績！

—医療従事者派遣・紹介事業は対前年同期比約1.5倍と高い成長率を継続して実現—

(単位:百万円)

	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
調剤薬局事業	75,967	87,204	87.0%	11,237	14.8%
うち一般薬等売上	916	912	0.9%	△4	△0.5%
医薬品製造販売事業	8,985	9,398	9.4%	412	4.6%
医療従事者派遣・紹介事業	2,465	3,666	3.7%	1,200	48.7%

販管費は売上総利益の伸びを大きく下回る水準に抑制。

— 医薬品製造販売事業における研究開発は第3四半期以降にさらに積極展開 —

(単位:百万円)

	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
販 管 費	12,223	13,685	13.6%	1,461	12.0%
（ 給 与 手 当 ）	1,635	1,851	1.8%	216	13.2%
（ 賃 借 料 ）	1,088	1,025	1.0%	△63	△5.8%
（ 消 費 税 等 ）	4,686	5,464	5.5%	778	16.6%
（ 研 究 開 発 費 ）	791	890	0.9%	98	12.5%

※構成比は売上に対する比率

(単位:百万円)

	H27/3末	H27/9末	増減額
流動資産	60,096	69,882	9,785
固定資産	70,044	70,948	904
有形固定資産	48,819	49,934	1,114
無形固定資産	10,376	10,106	△269
投資その他	10,848	10,907	59
資産合計	130,141	140,831	10,689
流動負債	53,474	62,314	8,839
固定負債	59,031	58,672	△358
負債合計	112,505	120,986	8,480
純資産合計	17,635	19,844	2,209
自己資本	17,635	19,844	2,209
自己資本比率	13.6%	14.1%	—

主な増減要因

【流動資産】	
・現金及び預金	+6,402
・商品及び製品	+2,005
【固定資産】	
・建物及び構築物	+3,348
・建設仮勘定	△3,859
【流動負債】	
・買掛金	+5,455
・短期借入金	△3,890
・1年内償還予定の社債	+7,000
【固定負債】	
・長期借入金	+6,855
・社債	△7,000
【純資産】	
・利益剰余金	+2,225

(単位:百万円)

	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9
営業活動による キャッシュ・フロー	1,502	7,435
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,394	△3,329
財務活動による キャッシュ・フロー	3,575	2,403
現金・現金同等物の 増減額	1,682	6,509
現金・現金同等物の 期首残高	15,027	13,844
現金・現金同等物の 期末残高	16,710	20,354

主な内訳

【営業活動によるCF】

・税金等調整前四半期純利益	3,845
・減価償却費	2,124
・売上債権の増減額	△920
・たな卸資産の増減額	△2,917
・仕入債務の増減額	+5,318
・法人税等の支払額	△1,317

【投資活動によるCF】

・有形固定資産の取得による支出	△2,961
-----------------	--------

【財務活動によるCF】

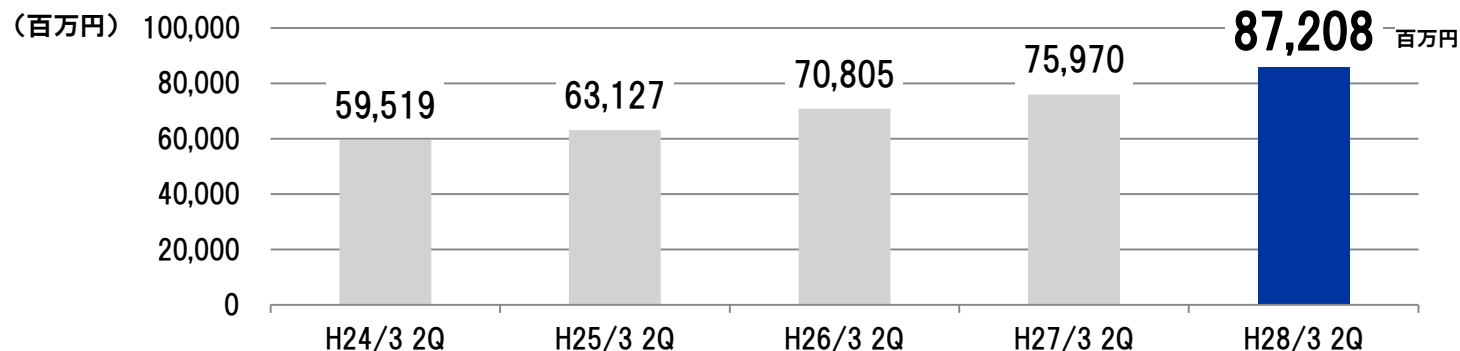
・短期借入金の純増減額	△3,890
・長期借入による収入	9,800
・長期借入金の返済による支出	△2,825

(単位:百万円)

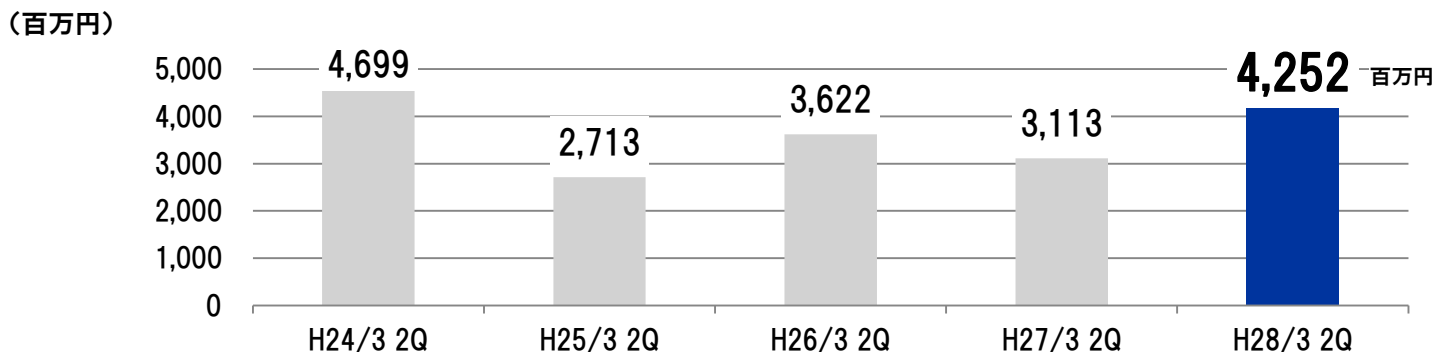
	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9	増減額	増減率
売上高	70,805	75,970	87,208	11,237	14.8%
営業利益	3,622	3,113	4,252	1,138	36.6%
対売上比(%)	5.1%	4.1%	4.9%	—	—

※セグメント間取引消去前

◆セグメント別売上高の推移



◆セグメント別営業利益の推移



◆日本調剤グループ出店期別 店舗調剤売上の推移

(単位:百万円)

	H27/9末 店舗数	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9	増減額	増減率
既 存 店 (~H26/3)	474	73,628	81,777	8,148	11.1%
前 期 出 店 (H26/4~H27/3)	29	612	3,551	2,939	480.2%
今 期 出 店 (H27/4~H27/9)	18	—	769	769	—
そ の 他	—	697	43	△654	△93.8%
計	521	74,939	86,141	11,202	14.9%

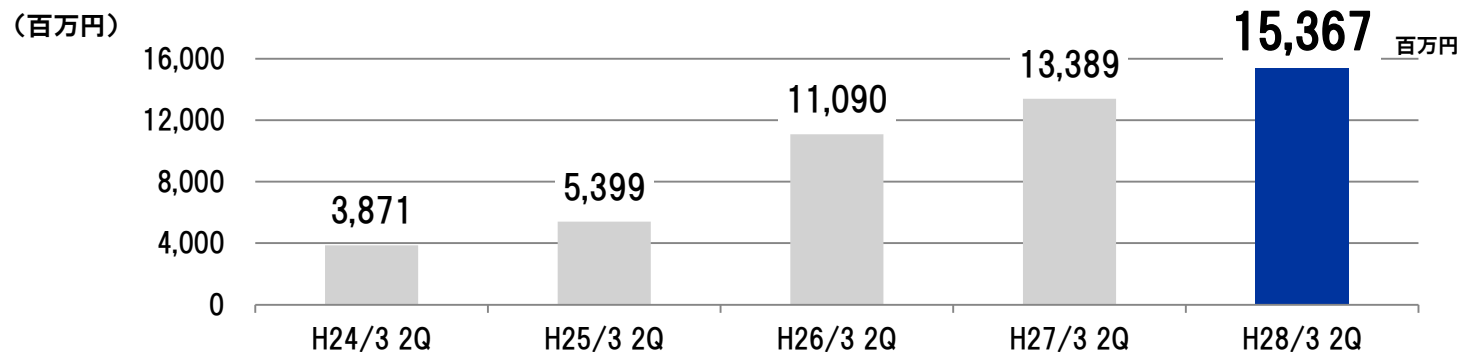
- ・ 調剤売上のみ(OTC等含まず)、発生ベース(返戻再請求を反映せず)。
- ・ 期中閉局店舗分はその他に集計しております。
- ・ 店舗数には物販専業の1店舗を含んでおりません。

(単位:百万円)

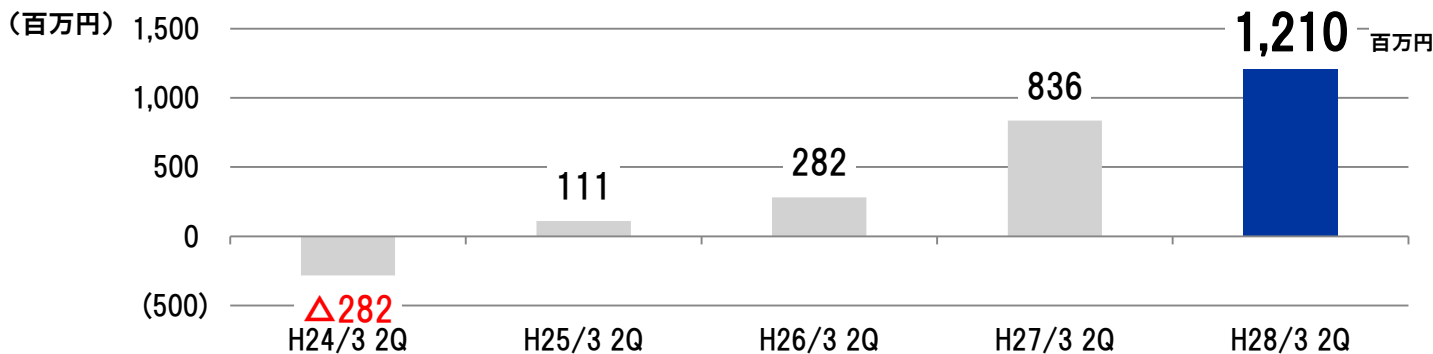
	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9	増減額	増減率
売上高	11,090	13,389	15,367	1,977	14.8%
営業利益	282	836	1,210	373	44.7%
対売上比(%)	2.6%	6.2%	7.9%	—	—

※セグメント間取引消去前

◆セグメント別売上高の推移



◆セグメント別営業利益の推移

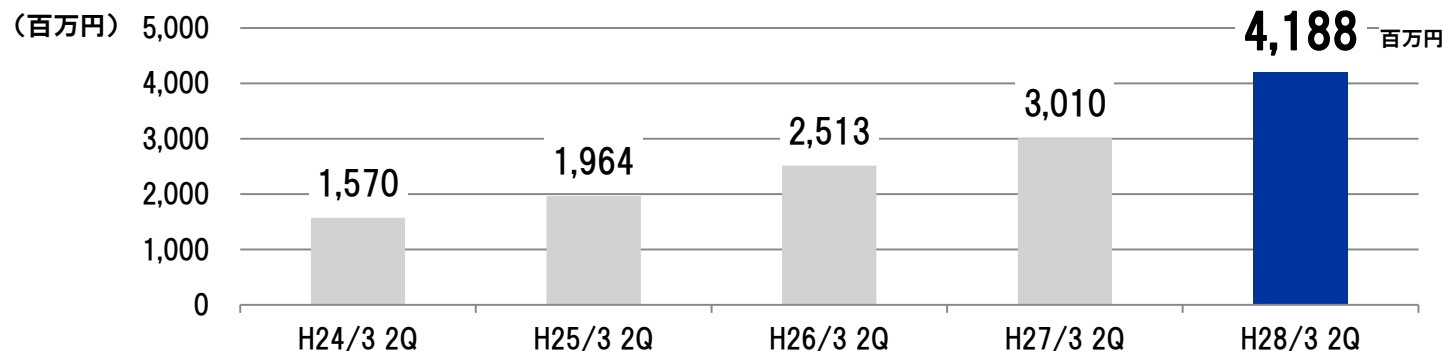


(単位:百万円)

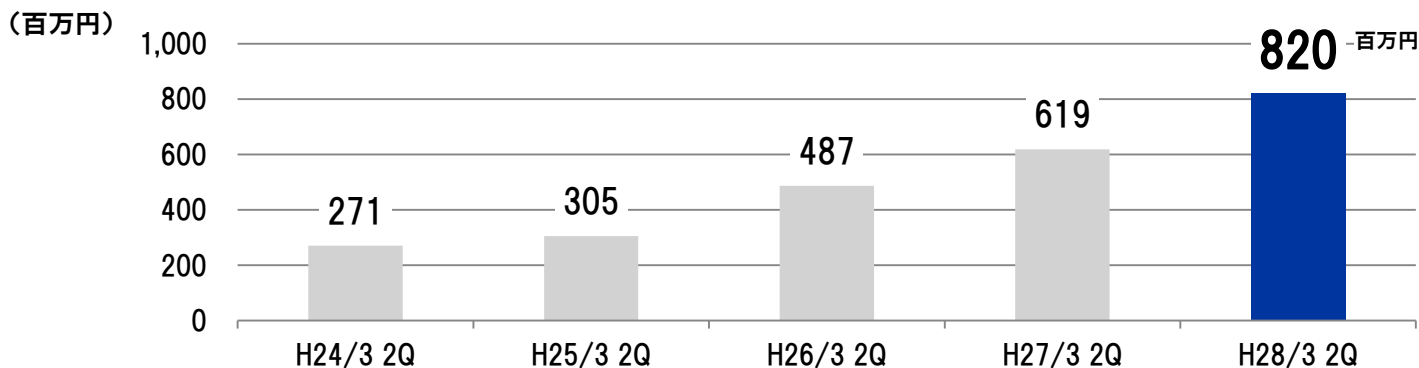
	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	H27/4-H27/9	増減額	増減率
売上高	2,513	3,010	4,188	1,177	39.1%
営業利益	487	619	820	200	32.3%
対売上比(%)	19.4%	20.6%	19.6%	—	—

※セグメント間取引消去前

◆セグメント別売上高の推移

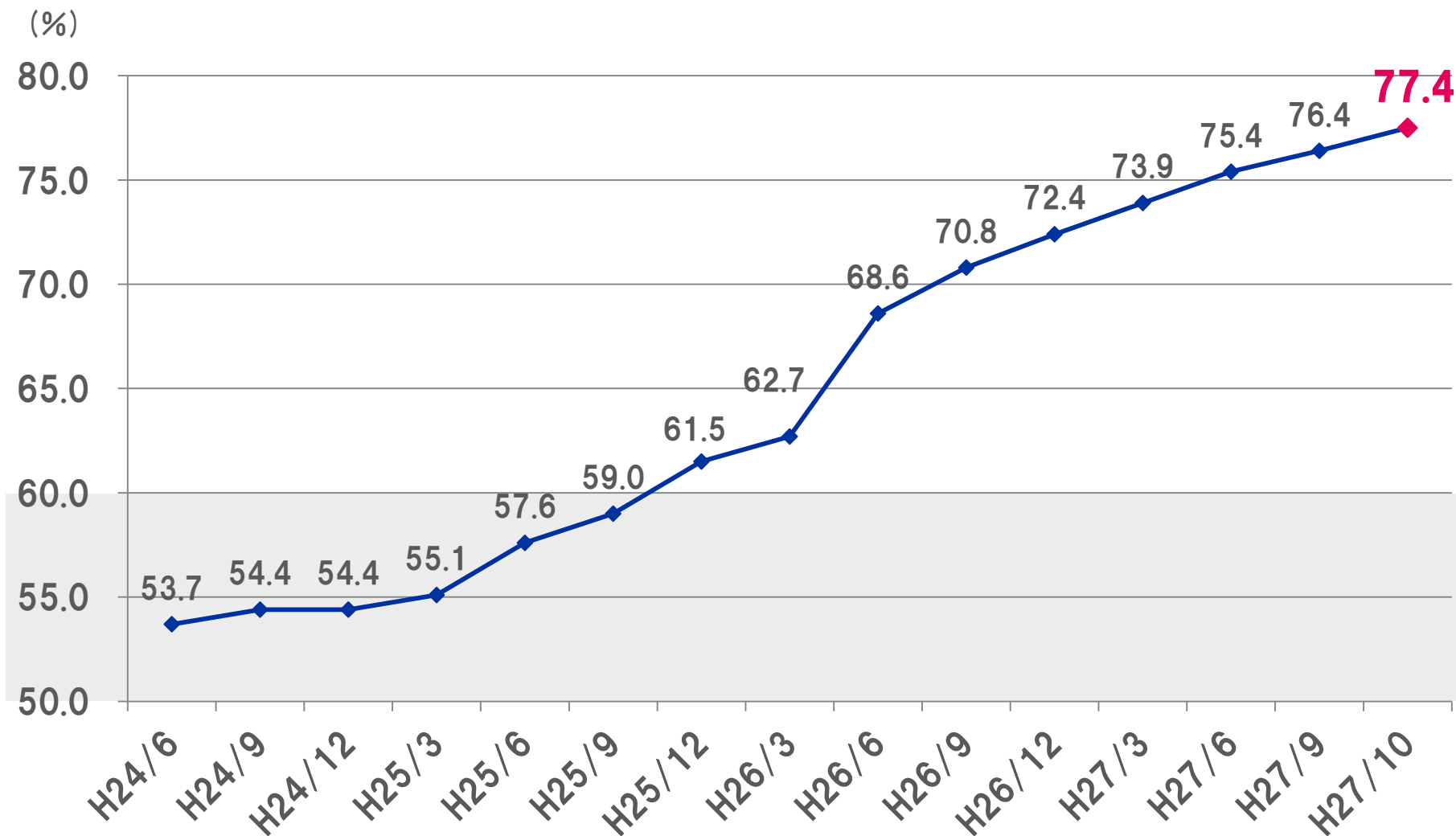


◆セグメント別営業利益の推移



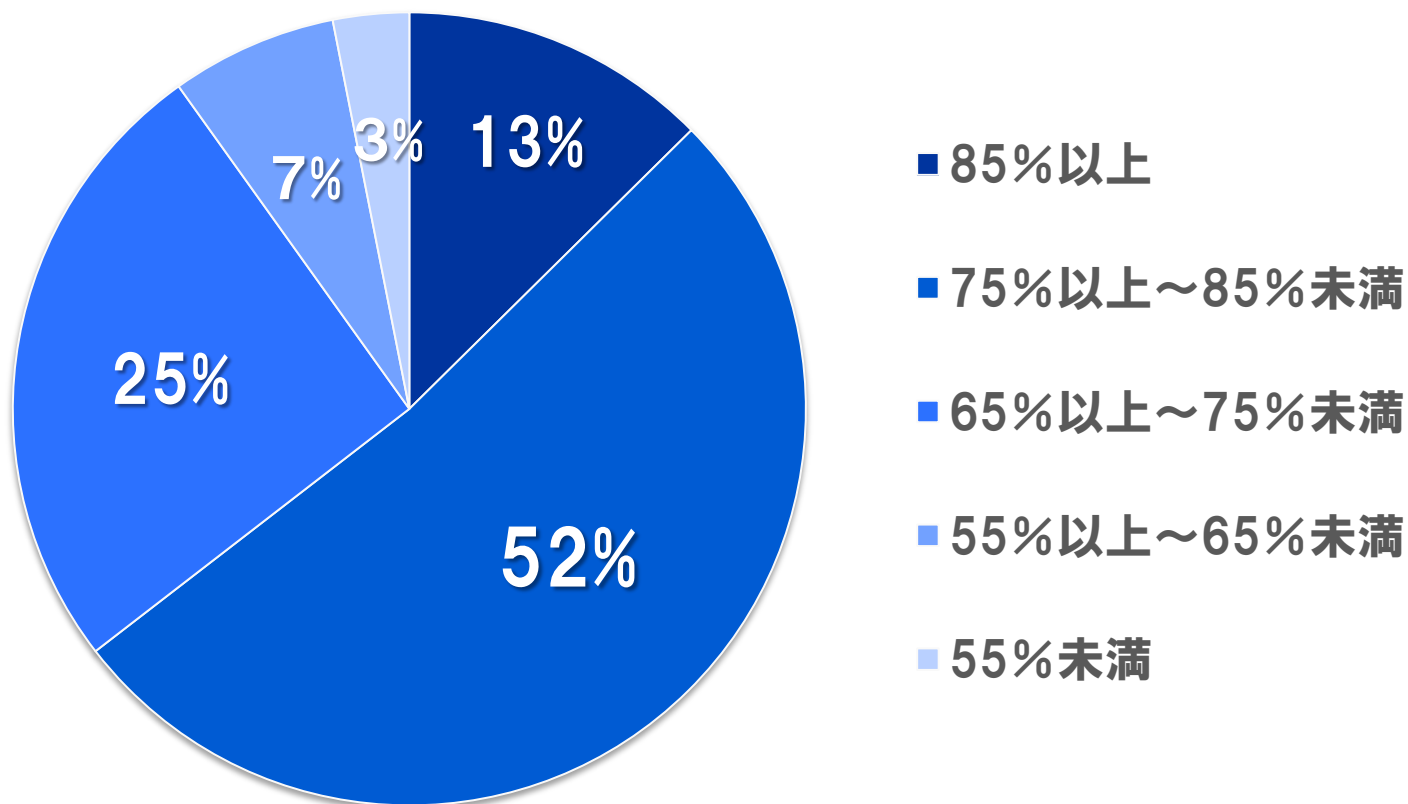
II. 日本調剤グループの事業展開

ジェネリック医薬品使用率(数量ベース) 全社平均

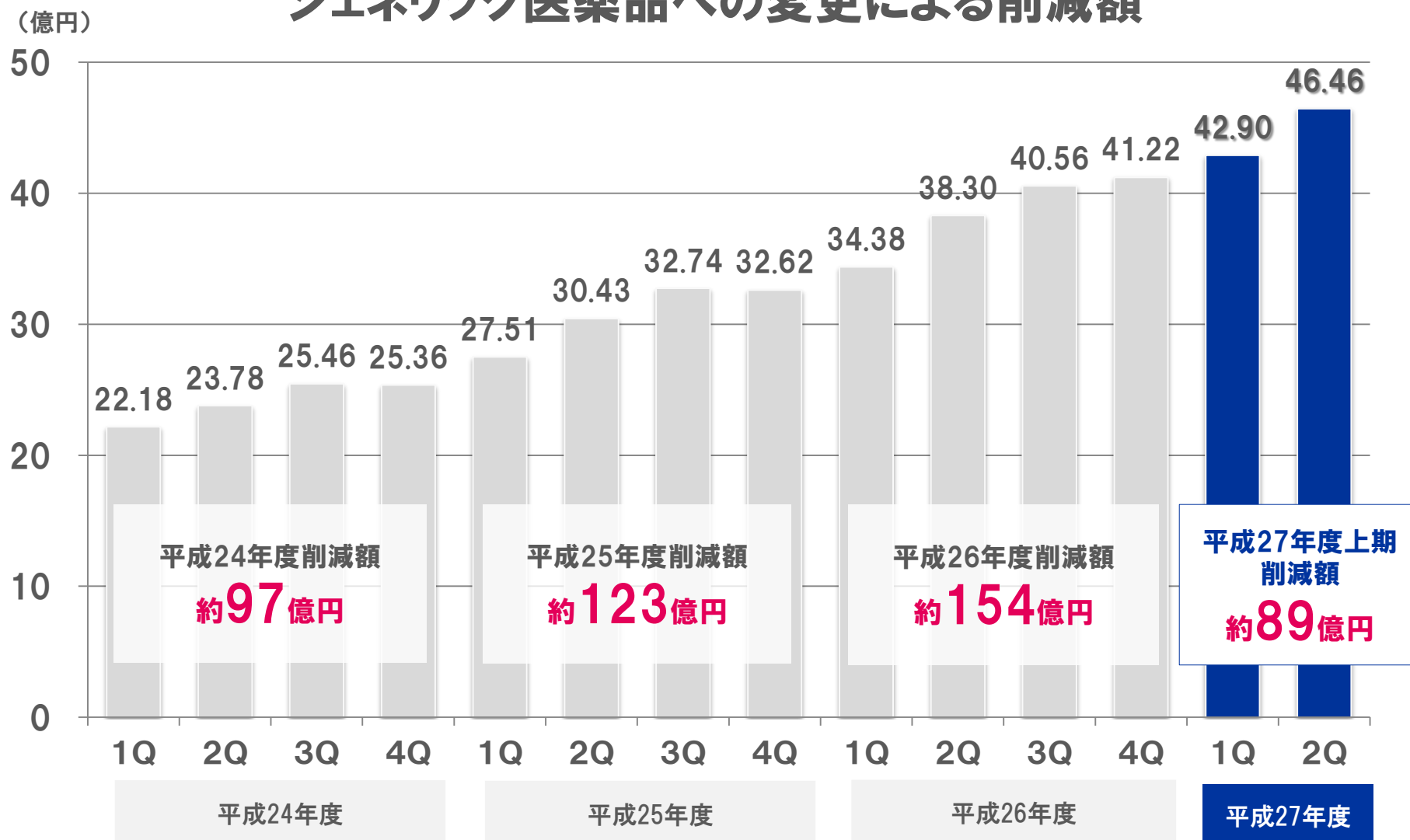


店舗別ジェネリック医薬品使用率状況(数量ベース)

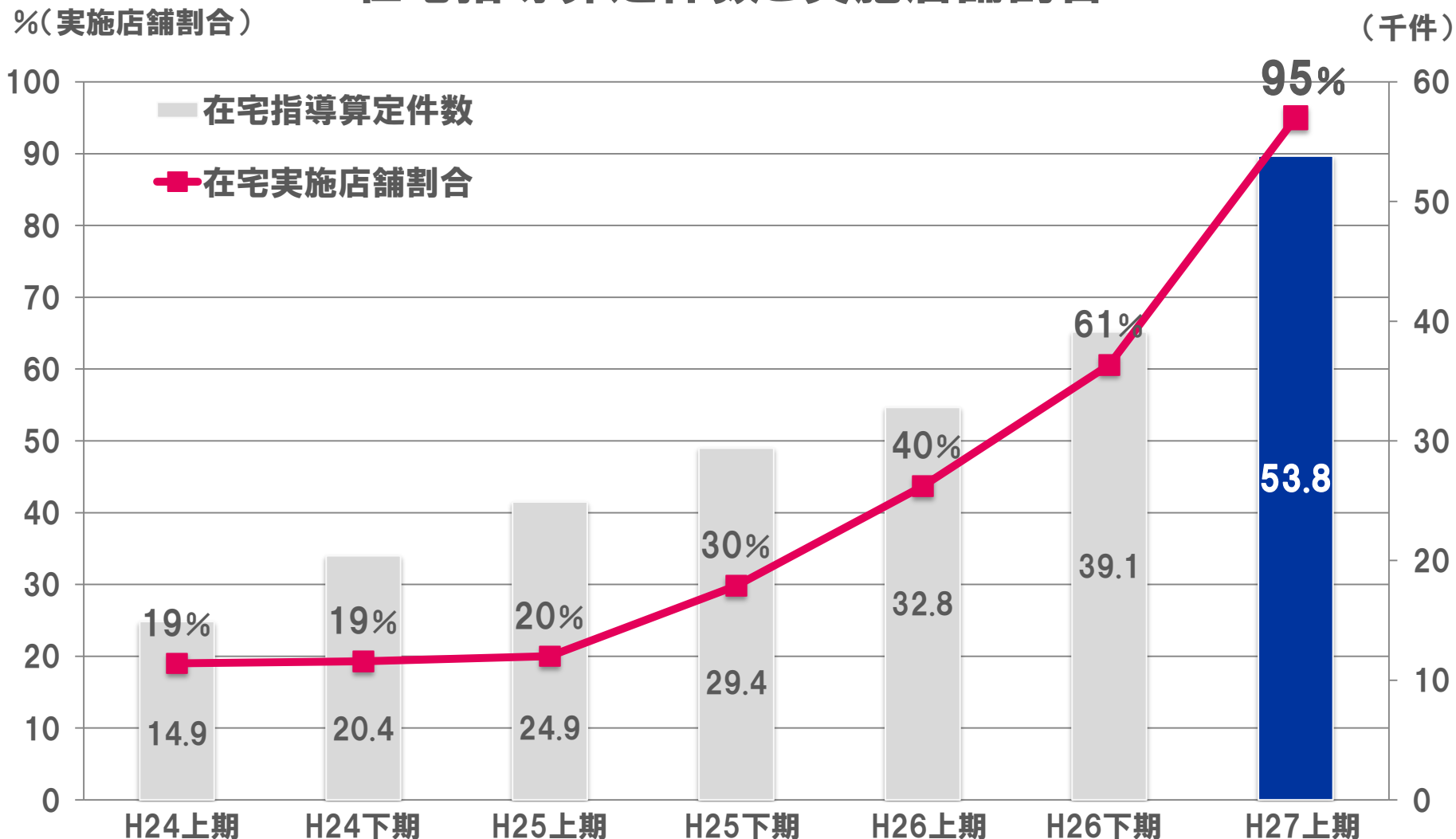
平成27年10月時点



ジェネリック医薬品への変更による削減額



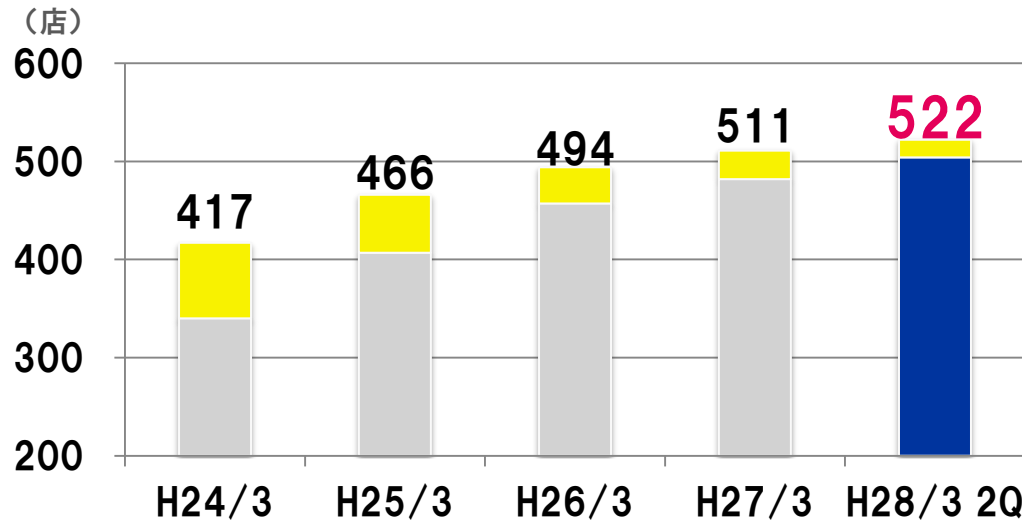
在宅指導算定件数と実施店舗割合



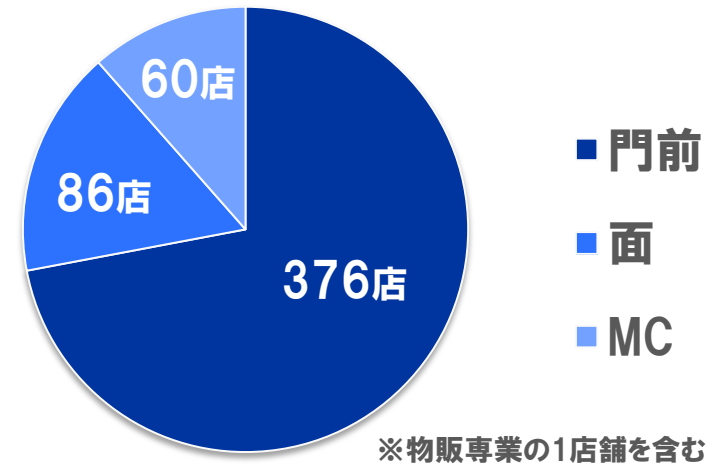
※在宅実施店舗割合は期末時点での実績

3. 出店状況について

◆各期末店舗数の推移



◆タイプ別店舗数 (H27/10 時点)



◆平成27年4月～10月 出店・閉店数

出店数	19
閉店数	8
総店舗数(10月末)	522

※物販専業の1店舗を含む

うち、買収案件2件

**M&Aは規模・将来性を
厳選して展開**

4. 旭市内3店舗 分業による効果

◆店舗別ジェネリック医薬品使用率（数量ベース）（平成27年10月）



旭薬局

- ・24時間営業
- ・夜間対応



旭病院前薬局

- ・無菌調剤室
- ・会議・研修室完備



旭駅前薬局

- ・面対応

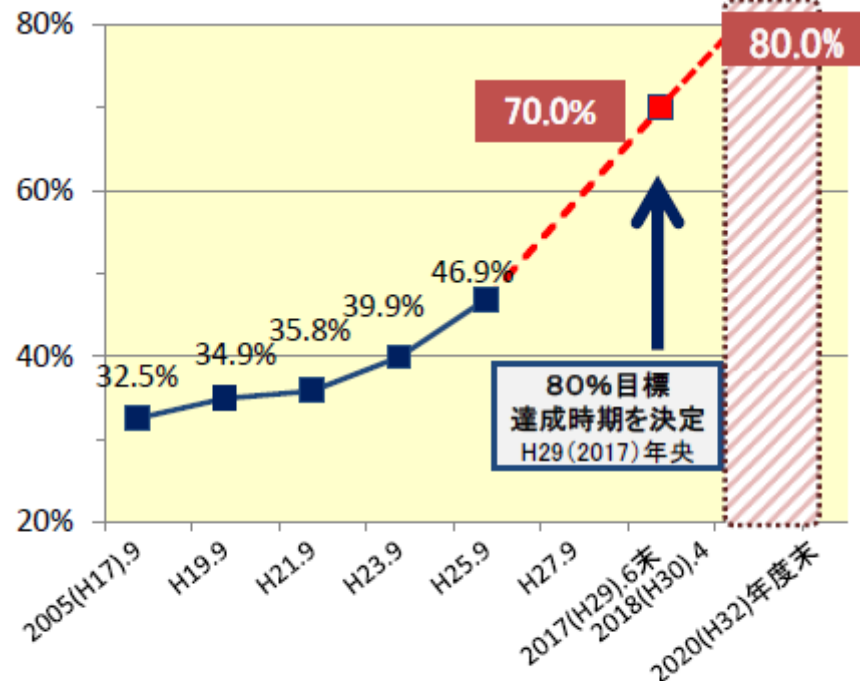
◆ジェネリック医薬品への変更による削減効果

3店舗合計 **2億7,300万円**（年間推計）

ジェネリック医薬品への追い風

我が国の後発医薬品の数量シェアの推移と目標

- 数量シェア目標**
- ① 2017年（平成29年）央に**70%**以上
 - ② 2018年度（平成30年度）から2020年度（平成32年度）末までの間のなるべく早い時期に**80%**以上



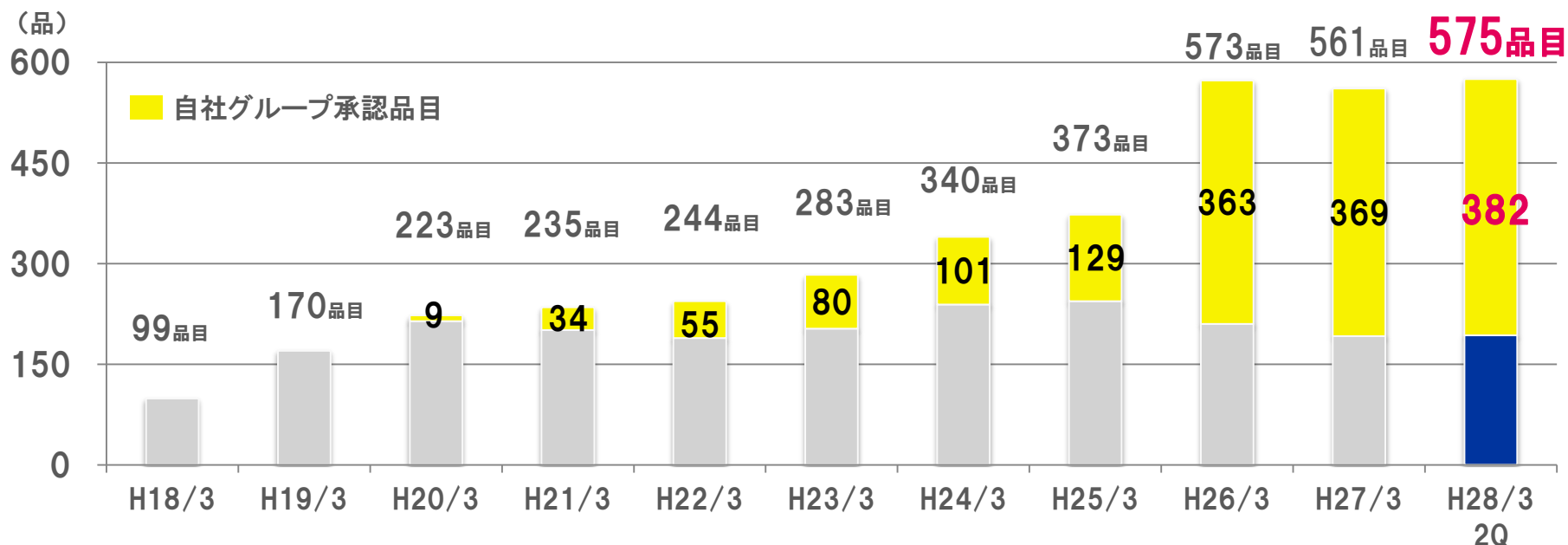
骨太方針

「後発医薬品に係る数量シェアの目標値については、2017年（平成29年）央に**70%**以上とするとともに、2018年度（平成30年度）から2020年度（平成32年度）末までの間のなるべく早い時期に**80%**以上とする」

注) 数量シェアとは、「後発医薬品のある先発医薬品」及び「後発医薬品」を分母とした「後発医薬品」の数量シェアをいう
 ※出典：厚生労働省HP 厚生労働省調べ

※「経済財政運営と改革の基本方針2015
 ～経済再生なくして財政健全化なし～」より

◆販売品目数の推移



◆平成27年12月 薬価基準収載予定品(9品目)

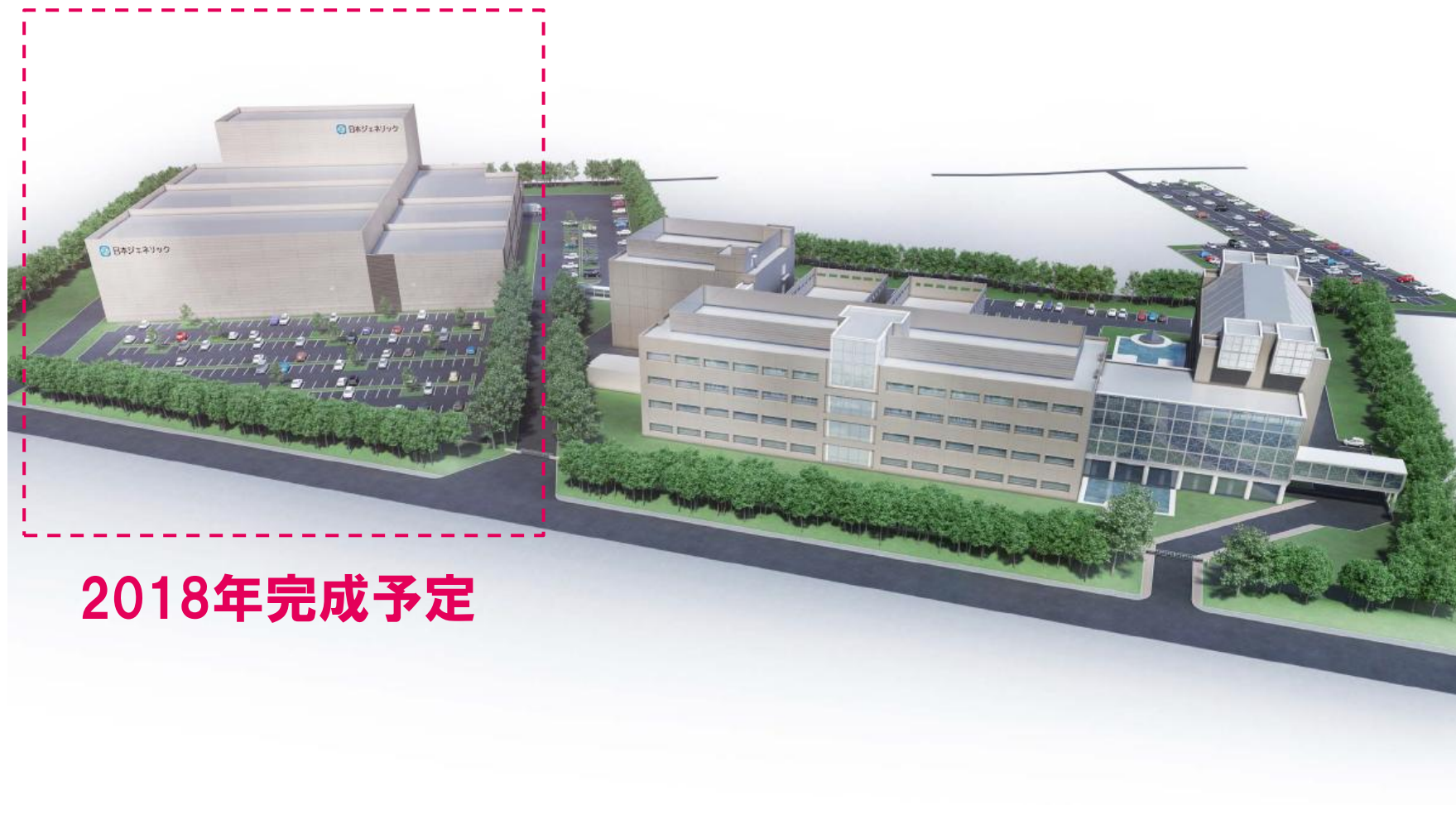
名称	名称	名称
アムバロ配合錠「JG」	オロパタジン塩酸塩OD錠5mg「JG」	イコサペント酸エチル粒状カプセル300mg「CH」
ロサルヒド配合錠HD「JG」	セルトラリン錠25mg「JG」	イコサペント酸エチル粒状カプセル600mg「CH」
オロパタジン塩酸塩OD錠2.5mg「JG」	セルトラリン錠50mg「JG」	イコサペント酸エチル粒状カプセル900mg「CH」

◆年間最大生産能力（錠剤・カプセル剤）

（億錠）

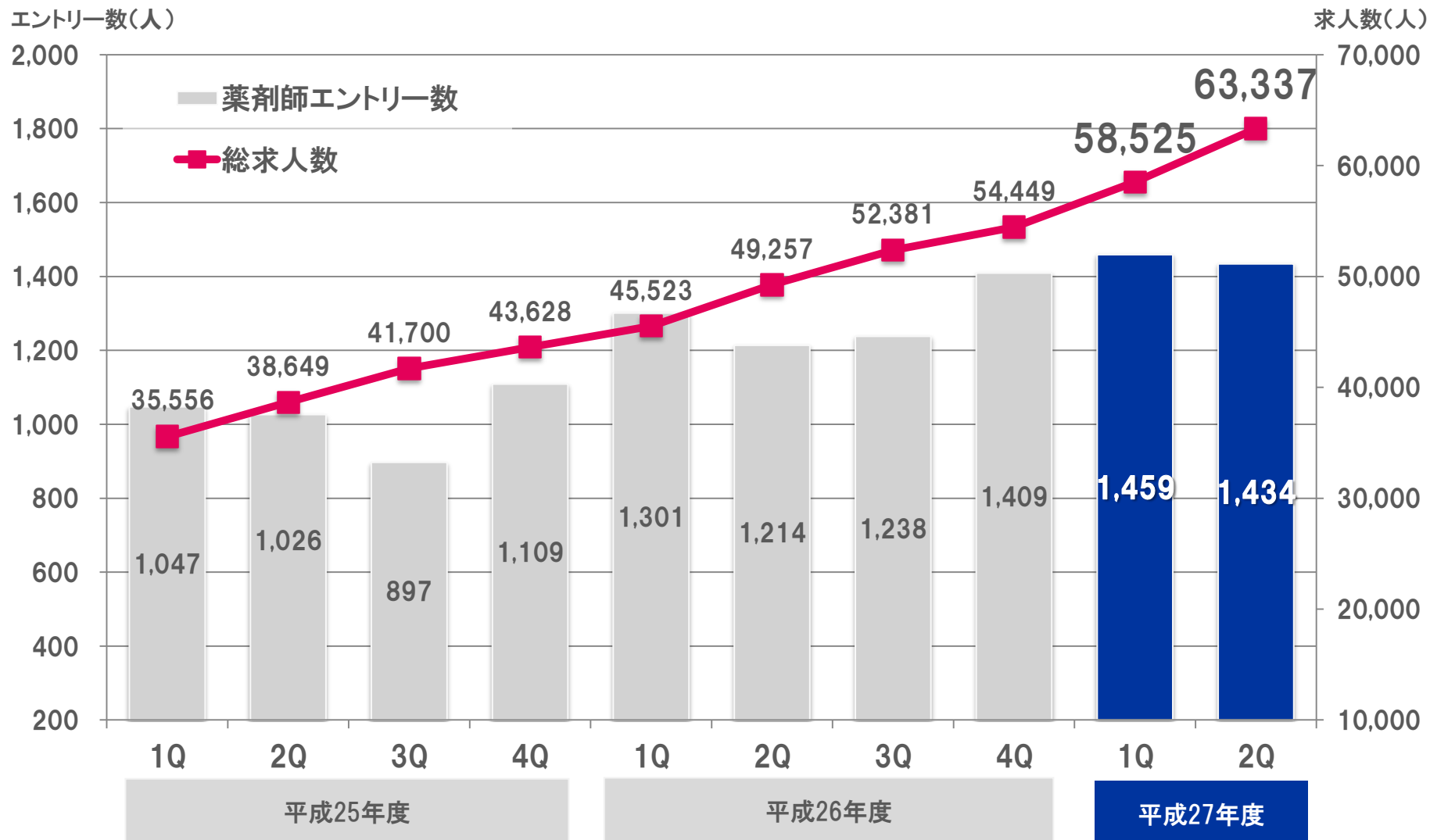
社名	工場名	H26/3	H27/3	計画
日本ジェネリック	つくば工場(S棟、N棟)	10	23	36
	つくば第二工場			100
	春日部工場		9	9
長生堂製薬	本社工場	7	7	7
	本社第二工場		2	2
	川内工場	2	2	2
	合計	19億錠	43億錠	156億錠

つくば第二工場 完成予想図



2018年完成予定

薬剤師エントリー数と総求人数



「患者のための薬局ビジョン」

※出典：厚生労働省HP

健康サポート機能

- 国民の**病気の予防**や**健康サポート**に貢献

高度薬学管理機能

- **高度な薬学的管理ニーズ**への対応

服薬情報の一元的・継続的把握

- **副作用**や**効果**の継続的な確認
- **多剤・重複投薬**や**相互作用**の防止
- ICTを活用した、患者がかかる**すべての医療機関の処方情報の把握**

24時間対応・在宅対応

- **夜間・休日(24時間)**の対応
- **在宅患者**への薬学的管理・服薬指導

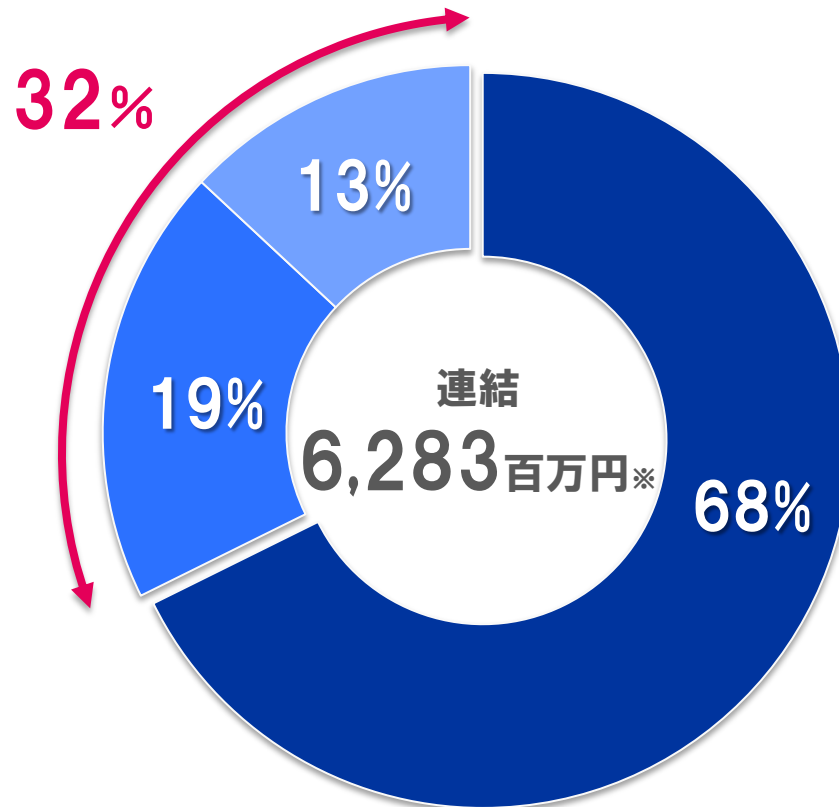
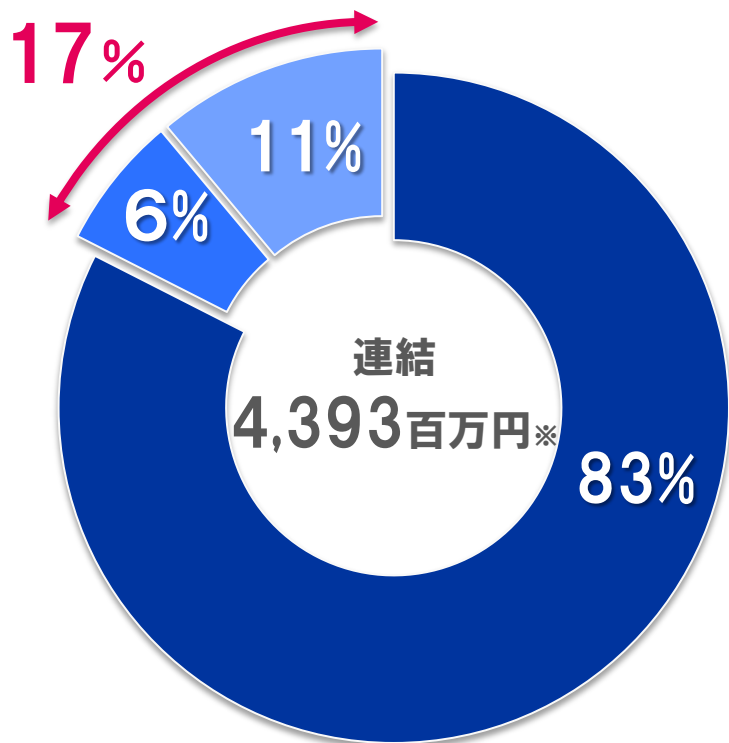
医療機関等との連携

- 疑義照会・処方提案
- 副作用・服薬状況のフィードバック
- 医薬品等に関する相談・健康相談への対応
- 医療機関への受診勧奨

セグメント別 営業利益状況

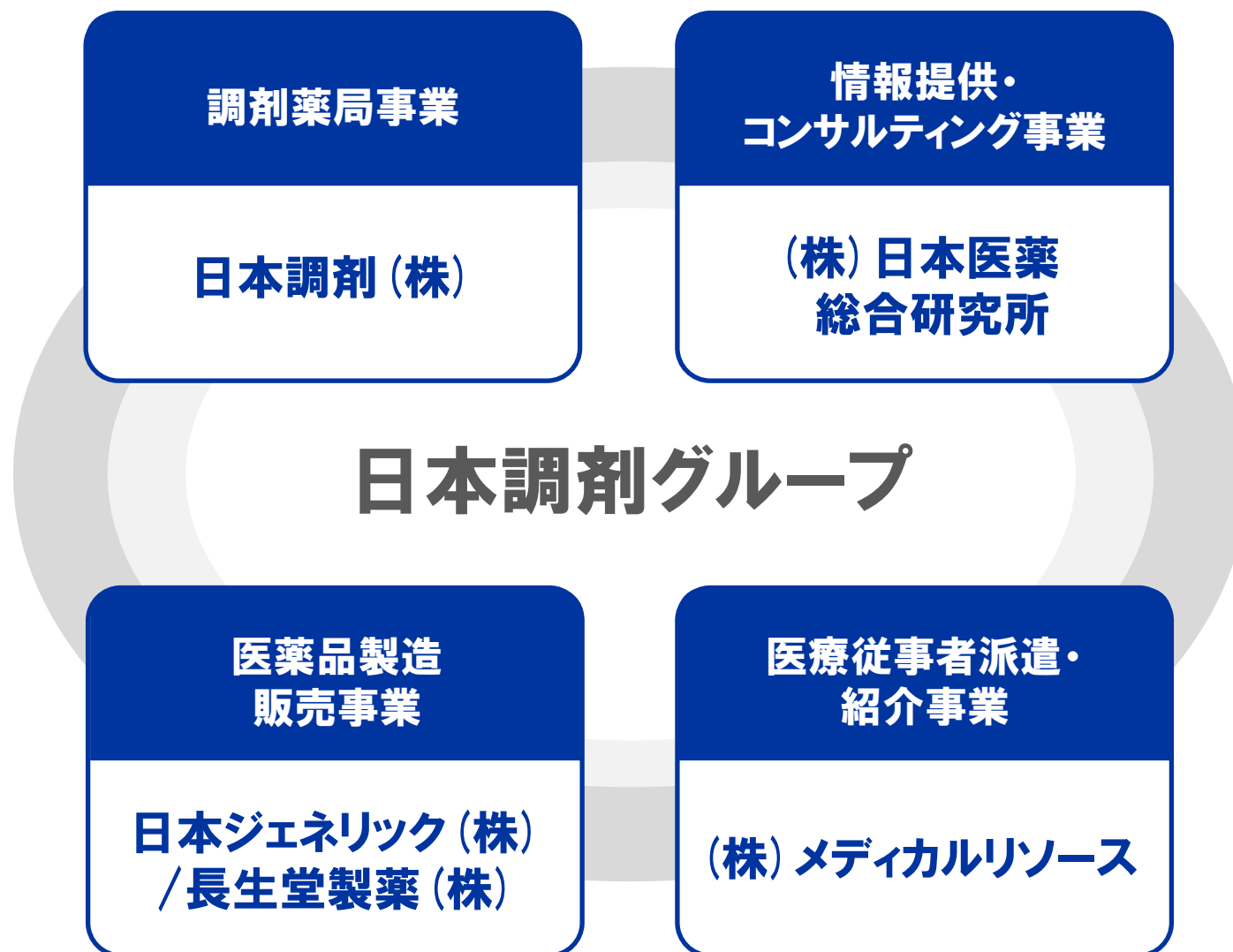
平成26年3月期2Q

平成28年3月期2Q



調剤薬局事業
 医薬品製造販売事業
 医療従事者派遣・紹介事業

※セグメント利益調整前



注意事項

本資料は、本年10月29日に発表しました「平成28年3月期 第2四半期決算短信」の決算補足説明資料として、同期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【IRお問い合わせ先】



〒100-6737

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37F

Tel : 03-6810-0800(代表)

E-Mail : ir-info@nichou.co.jp

IR専用ページ : <http://www.nichou.co.jp/ir>

担当 : 経営企画部 IR担当まで